

中核市移行に向け

環境学習都市宣言の理念をより一層進めてまいります。

今こそ環境への気づきが必要

地球温暖化は最優先の課題であり、その対策に全力を尽くさなければなりません。これは次世代に、より良い環境を引き継いでいくべき私たちの使命です。地球環境の大切さ、環境保全の重要性は、私たち誰もが思っていることです。しかし、常に環境配慮を優先して日常生活を続けていくことには、息苦しさを感ずる場合があるかもしれません。環境にやさしい取り組みは、『できることから少しずつ』が長続きする秘訣です。また、皆で行動することが重要で、『一人の百歩より、百人の一步』です。

本市にはエコカードシステムを始めとしたEWC(地球ウォッチングクラブ)事業があります。これは子どもの環境学習を支援し、大人にも環境への気づきを促す仕組みです。「エコカード」は1998年から市内の全小学生に配布され、昨年度からは中学生以上を対象とした「エコアクションカード」、今年度からは未就学児向けの「ちきゅうとなかよしカード」も誕生しています。あらゆる世代が環境活動に取り組みやすい仕組みを整備し、環境について気づきかけを設けています。

「参画」と「協働」による

環境学習都市・にしのみや

このように本市は、環境学習を軸とした環境施策を継続してきたこともあり、平成15年に全国初の環境学習都市宣言を行いました。平成17年度にその理念を具体化するものとして環境関連条例を整理・体系化し、新環境計画をスタートさせました。新環境計画では市民・事業者・専門家・行政の参画と協働で計画を推進していくことを謳っており、そのための組織作り、進行管理等についても記しています。新環境計画に基

づいて設置された組織は全て、市民・事業者・専門家・行政の参画と協働により運営されているものであり、そこでは活発な議論が交わされ、いろいろな角度から提案等がなされています。平成20年度に中核市に移行する本市にとって、参画と協働は重要なキーワードです。

この環境レポートも市民・事業者・専門家・行政の取り組みをわかりやすくお伝えしようという趣旨から、様々な意見をいただき、より見やすく、手に取っていただきやすい紙面づくりを心掛けて作成しました。西宮の環境についてご理解いただければ幸いです。

気づきから行動へ

子どもたちに明るい未来を、より良い西宮の環境を残すためには、一人ひとりが現状を認識し、環境改善に向けた取り組みを行っていくことが重要です。

市民の皆様の「行動」を期待いたしますとともに、私たちも「環境学習都市・にしのみや」にふさわしい施策を講じて参りますので、今後ともご支援・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

西宮市長 山田 知

